

そうじの力だより

VOL.215



支援事例紹介

そうじの力で社業が大きく発展

〜環境整備を進めて、社屋まで建て替えた〜

香川県高松市に本社を構える後藤設備工業株。水道、空調、電気工事を請け負う、社員数七二名の総合設備工事業者です。

ここで八半年前に、弊社のお手伝いにより、環境整備の活動がスタートしました。

スタートする前は、事務所も書庫も倉庫もぐちゃぐちゃでした。当時は会社として、そうじをするという習慣がありませんでした。

しかし、社員の質は高く、現場における腕も確かで評判も良かったので、社内外を整えることで、さらに良い会社を目指そう、ということでした。

倉庫には、現場から戻ってきた設備機器類がホコリを被って大量に山積みされていました。

それらを一つひとつ確認して、要るものなのか要らないものなのかを判断し、要らないものは処分しました。結果、九割方は処分となりました。

書庫には、大量の図面が乱雑に保管されていました。どこにどんな図面があるのかが分かりません。まず、既に建物が消失しているような図面を廃棄し、残った図面については、エクセルシートに概要を入力し、データベース化しました。五十音順に並べることと分かるようになりました。

事務所内のデスクの上には、書類が山積みになっていました。書棚も、書類

で溢れかえっていた

それらの書類を一つひとつ確認し、要らない書類をどろんどろん廃棄していき、

「机上ゼロ」を実現していきました。

こうした活動を続けて、社内外がきれいに整ってきた頃に、本社屋(自社ビル)が老朽化して、現在の耐震基準に合致しない、という問題が持ち上がったのです。

そこで、これを機に、思い切つて社屋を建て直そう、ということになりました。新しい社屋の設計においては、環境整備の活動から得た知見を織り込み、より分かりやすく、動きやすく、出し入れしやすく、コミュニケーションがしやすいレイアウトや収納にすることができました。

事務所



フリーアドレスになった現在の事務所



活動スタート前の事務所の様子

内は、すべてフリーアドレスになりました。ほとんどのキャビネには、扉がついていません。視認性が良く、コミュニケーションも容易です。

この新しい社屋は、二〇一八年度の第三一回日経ニューオフィス賞(四国ニューオフィス推進賞)を受賞することができました。

同社は、その後もコツコツと活動を続けています。

毎年、「そうじのカプロジェクトリーダー」を任命し、リーダーが活動を引張っています。毎朝一五分間、朝礼前に全員で事務所内をそうじしています。毎月第三土曜日の午前中は、全体活動と称して、全員で大掛かりな整理・整頓・清掃を行っています。

たとえば、先日私が訪問した際には、三班に分かれて活動が行われました。トイレそうじ班、車の整備と洗車班、そして事務所のタイルカーペットのそうじ班です。

トイレそうじ

は、私が新入社員たちに手ほどきをしませ

は、荷室に載っているもの



筆者の手ほどきによるトイレそうじ実習

をいったん全部出して、不要なものも処分し、ボディもピカピカに磨き上げました。



車両の荷室に載っているものを出して整理

カーペットは、はがしてタワシですつて洗い、干して、また敷き直しました。

こうして皆で汗を流すことで、社内の一体感が高まります。



タイルカーペットを洗って敷き直す

現在の後藤真一郎社長は、八半年前は専務でした。代表を引き継ぐ前に、こうして環境整備ができたことは、経営者として大きなアドバンテージになったことでしょう。

おかげさまで、環境整備を始めてから、同社の業績はうなぎ登り。環境整備は、間違いなく、社業の発展に寄与しているようです。(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

常識を疑え！
〜大本営発表は事実か？

私は、トイレそうじの際に洗剤は使いません。スポンジやタワシに水を含ませてこすれば、大概の汚れは落ちます。

逆に、それでも落ちない汚れは、いくら洗剤を使っても落ちません。尿石や水垢などのこびりつきは、硬い突起物で削り取るか、塩酸系の薬剤を使って溶かすなどしないと、除去できません。

洗剤は「界面活性剤」と呼ばれ、本来は油分を分解するためのものです。尿にしても大便にしても、油分はほとんどないので、あまり意味はないのです。



ではなぜ、多くの人が、トイレそうじに洗剤を使うのかと言えば、それはテレビCMなどによる「刷り込み」なのでしょう。

同様に私は、風呂に入る際に、せっけんもシャンプーも使いません。頭を洗う際には、シャワーをかけながら指の腹でこすれば十分に汚れは落ちますし、体もタオルにお湯を含ませて拭けば、十分に皮脂汚れは落ちます。シャンプーやせっけんを使うと、体に必要な脂分まで奪われてしまい、かえって肌荒れなどを引き起こしやすくなります。

同じく、歯磨きの際にも、歯磨き粉は

ツイッターで、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！

使いません。歯ブラシでブラッシングするだけで、十分に歯垢は除去できます。ちなみに私は、もう三〇年以上、虫歯はありませんし、かかりつけの歯科医は、歯磨き粉を使えとは一言も言いません。

私は、世間の「常識」に疑問を抱いた時には、実際に自分が体験しつつ、多面的に情報を得るようにしています。

さて、いまだに多くの人が着用しているマスク。これに意味はあるのでしょうか？ マスコミや行政から一方的に流される情報は、本当に正しいのでしょうか？

すでに、マスクには感染予防の効果はないとする論文や、マスクの着用は脳やホルモンに悪影響を与え、特に子どもの健全な発育を阻害するという論文もたくさん発表されています。

私自身、この三年間で、マスクの着脱によって感染予防効果に差があったという実感はまったくありません。

こじつけるわけではありませんが、私は、「そうじ」とは、「本質を明らかにし、より良くすること」ととらえています。

そろそろ、マスクについての「常識」を疑って、真実を探ってみませんか。(小早)



編集後記

ざっす！

息子がこの春に高校に入学しました。サッカー推薦だったので、当然サッカー部に入部。

そこでいきなり受けた洗礼が、「挨拶の仕方」でした。

おはようございます→「ざっす」、こんにちは→「ちは」、こんばんわ→「ばんわ」と、こんな具合です。

息子は当初、引いたみたいですが、私はこういうの、嫌いじゃありません。高校時代に柔道部で、同じような挨拶をしていました。昭和の香りがして、懐かしいですね(^.^)。(小早)



・挨拶は
おはようございます→「ざっす」
こんにちは→「ちは」
こんばんは→「ばんわ」
ありがとうございます→「ざっす」
大きい声で立って挨拶する
・挨拶は先生、先輩、相手チームの大人のひとなどに絶対すること
・先生の話を聞くときは先生のみから絶対に目を離さない、絶対動かない
・先生や先輩には「僕」、「俺」、などは使わず「自分」と言う
・集合の時の全体の返事は「おし」、個人で呼ばれた時は「はい」と言う
・座る時は「失礼します」と言う
・先生が帰る時は「失礼します」と言う
・先生が来た時は大きい声で挨拶
・試合中や練習中、ボールを使ってる時取ってたら「ざっす」と言う(相手が年下だとしても誰にでも取ってたら言う)

飛鳥のつばやき

音楽の力

東日本大震災で犠牲になられた方を追悼するための紙灯籠点灯イベントが、近くで開催されていたので、子供たちと散歩しながら行きました。



流れていたオルゴール「花は咲く」を聞いたとたん、当時の記憶が鮮明にぶわっと甦ってきました。

音楽の力ってすごいですね。きっとまたどこかで「花は咲く」を聞いたとき、きっとこの夜のことも思い出すんだろうな…。(大槻)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場検証を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)